

## 腸管出血性大腸菌（<sup>オー</sup>O157）感染症患者の発生について

### 1. 患者の状況

- ・患者 高岡厚生センター管内 男性 （80歳代）
- ・経緯 6月14日（日） 腹痛、下痢  
6月15日（月） 症状が続くため、医療機関を受診  
6月18日（木） 腸管出血性大腸菌O157感染症と診断
- ・症状 現在、症状は消失している

### 2. 患者及び感染源調査

- ・患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- ・患者家族等接触者の健康状況調査を実施

### 3. 対応

- ・患者自宅等の消毒を指示
- ・患者及び患者家族等に対し、衛生教育を実施

### 4. 予防対策の周知をお願いします

- ・調理の際、食事の際、トイレの後など手洗い消毒を徹底しましょう
- ・肉類や加熱する食品は十分に加熱しましょう
- ・調理器具を使い分けましょう

■下痢等の症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診察を受けましょう

### 5. 参考

（令和2年）

（令和元年：同時期）

(1) O157	4名（本事例を含む）	3名
(2) O26	2名	6名
(3) O91	2名	0名
(4) O100	1名	0名
(5) O182	0名	1名

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。